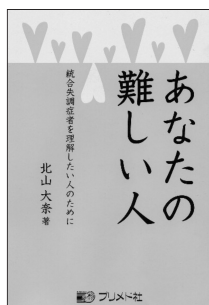


■ 書 評



あなたの難しい人—統合失調症を理解したい人のために—

北山大奈 著
プリメド社 2009年3月
237頁, 定価 1,680円



さすらいの統合失調症
対応・支援

北山大奈 著
プリメド社 2011年11月
242頁, 定価 1,890円

統合失調症に関する北山大奈著書2冊は相互に関連があり、前編と後編とも呼ぶうるものなので、両著をまとめて本書評で取り上げた。

「統合失調症の出現率は人口の0.5%から1.0%の間にあり、これは地域・時代を通じて変わらないようである。このことはありふれた病気であることを示している。しかし、一般の市民は、統合失調症の患者は珍奇な人で、不可解な言動を示す人だと誤解していることが多い」と、「あなたの難しい人」の序文で述べられている。

統合失調症は、青年期に発病することが多く、成人期に発病することもある。そのため、高校、大学、企業などで働く保健師、教師、学校医、産業医などが統合失調症患者に遭遇し、その対応に迫られることが稀ではない。

本書「あなたの難しい人」の特徴は、精神医学の専門学術書によくみられる難解な用語や表現をできるだけ避け、著者の精神科医としての長年の臨床経験を踏まえた平易な表現を用い、統合失調症患者の特性、その症状と診断についてわかりやすく解説している。その主症状の幻覚や妄想

の背景には患者の認知機能の障害があることが説明されている。

「さすらいの統合失調症 対応・支援」では、統合失調症の患者について、医療機関の利用を支援する方法、治療方法、日常生活や就労支援の仕方、障害年金の受給を支援する方法などが、わかりやすく説明されている。

多くの心身の病気と同様に、統合失調症でも早期発見・早期治療が重要である。そのため、患者が医療機関を利用するのを支援することは非常に大切である。病状が軽度なうちに医療機関を受診させ、早期治療に成功すれば、通院治療を受けながら通学・就労を続けさせられる場合が少なくない。入院治療を要する場合でも、2~3ヶ月間だけの入院治療で、その後は自宅へ退院させ、通院治療を続けさせながら通学・職場復帰が出来るようになることが多い。

病状が軽快しても家族との共同生活が困難な場合には、障害年金や生活保護費の支給を受けさせながら、グループ・ホームでの共同生活やアパートでの独り暮らしを送れるように支援することが重要である。それらについても、本書の内容は非常に役立つであろう。

本書では、統合失調症の病因に関する従来のさまざまな学説が詳しく紹介されている。しかし、この病気の病因の全貌が解明されたと言える段階にはまだ達していない。

統合失調症がいったん軽快した後に、その再発・再燃を予防するための医療的方策は、維持的薬物療法と日常生活支援の併用などと、かなり進歩してきた。しかし、この病気の発病予防の方法については全く展望がないのが現状であると思われる。

ところが、本書の最後の部分で、統合失調症の発病予防法について述べられている。その要点は、3歳頃までの幼児期に認知機能の発達を促すことが重要だとされている。この部分には、著者の長年にわたる臨床経験から得られた優れた洞察に基づく魅力的かつ説得力のある内容が展開されている。しかし、著者が述べている予防策の有効性と実現可能性については、今後、何らかの方策を工夫して科学的に実証すべきだと思われる。

以上に述べた特徴を備えた本書2冊は、大学卒後の臨床研修医および精神科専門医をめざす臨床医だけではなく、精神科医療に携わる看護師、臨床心理士、精神科作業療法士、精神保健福祉士などのパラメディカル・スタッフ、それらの専門職をめざす大学生や専門学校生、保健所、障害者地域支援センター、大学・高校や企業などで働く保健師、学校医、産業医などと多くの方たちに一読することを薦めたい。

(菱川泰夫)